

鎮守の森で ドンビヤララ



毎年、この秋祭りの頃は紅葉が見られるものですが、今年の10月は大変温かく紅葉が遅れました。11月中旬から一気に寒さを感じ、下旬には清栄山一帯にも紅葉が見られるようになったものの、今年は紅葉を見ずに木々の葉が散ってしまったところが多かったようです。

伝統を守る大切さ 地域おこしと親睦につなげる

秋祭り 野尻川上神社秋期大祭

10月29日と30日、今年も野尻の川上神社の秋祭りが盛大に開催されました。同神社は仲哀天皇、應神天皇、神功皇后などが祀られており、現在の宮園にあつた野尻社と元来の川上社が一つになったものです。29日は同神社で明治37年に大分県から伝えられた獅子舞がハッピも新調して境内で奉納された後、大字津留のおかりやに移動して舞われました。この日のために子どもたちは熱心に練習。その成果をまとめた、皆さんの観衆の前で披露して喝采を浴びていました。また、飛び入り歓迎の演芸大会・カラオケ大会では、日頃会う顔はもちろん、久しぶりに帰ってきた人や草部地区からもたくさんの方が参加して、夜遅くまで楽しい交歓の時を過ごしました。



草部の社会人バンド「奥阿蘇ウイングス」の演奏に合わせてダンスの輪があちらこちらに。

ケナで「コンドルは飛んでいく」を演奏

町民憲章

1. 水と緑と土のにおい、いつばいの住みよい町にします。
2. 伝統を重んじ、文化の薫る潤いのある町にします。
3. 老人を大切に、子どもの夢を育て幸せな町にします。
4. 勤労を尊び、産業を振興し活力のある町にします。
5. スポーツに親しみ、心身をきたえ健全な町にします。



PUBLIC INFORMATION

風薫る郷に芸術の秋

三森孝志さん
個展

高森郵便局展示場

11月18日～12月10日

自分が
自分である為

夕焼け 小焼け



昭和三十三年十二月生まれ。五十二年四月陸上自衛隊に入隊して空挺隊員として活躍。五十二年八月、ラグビー合宿中に負傷して首から下の機能を失い闘病生活を強いられる。五十六年春から口に絵筆をくわえて絵画や詩文創作を開始して画集三作を発売。平成二年十月、市民美術展特別賞や身体障害者美術展、本町の大阿蘇絵画展などでの受賞も多数。現在、自衛隊熊本地区病院において療養に励みながら、たくましい精神力により制作活動に没頭している。

自衛隊在職中、ラグビー練習中の事故で頸椎を損傷し、上下肢が自由な生活を強いられながらも、明るくたくましくの気持ちで俳句や絵画を描き続けている三森孝志さん。本誌平成七年三月号で紹介。その個展が行われ、たくさんの方が訪れて明るい色調と繊細な筆遣いに見入っていました。



第6回高森町 大阿蘇絵画展

特選に本町の津留縫子さん

今年で6回目となる、本町主催の大阿蘇絵画展が今年も11月10日から17日まで開催されました。町村が主催する絵画展としては唯一のもので、今年も県内外から力作揃いの286点もの作品が出展され、高いレベルでの厳しい選出だったようです。結果は特選2点を含む15点が入賞。66点が入選しました。審査員は三浦洋一、坂田燦、姫野豊の各氏。



特選「村の通り」 津留 縫子
大字高森・津留 (作品 上の写真)

愛情ある、明るいまちづくりを表現してみました。高森高校の社会人絵画教室から始めましたが、今回特選をいただくなんて本当に恐縮しています。これもその時お世話になった上野先生や絵画の会「土曜会」の皆さんのおかげです。ありがとうございました。

特選「遊」 清島 敦子
熊本市・並建町 (作品 右の写真)

特選をいただき本当にビックリしました。何か趣味を持ちたいと思い、絵画は2年前に始めました。この絵画展の名声と権威の高さは以前から聞いており、去年から出展させていただきました。これを励みに、これからも頑張ります。



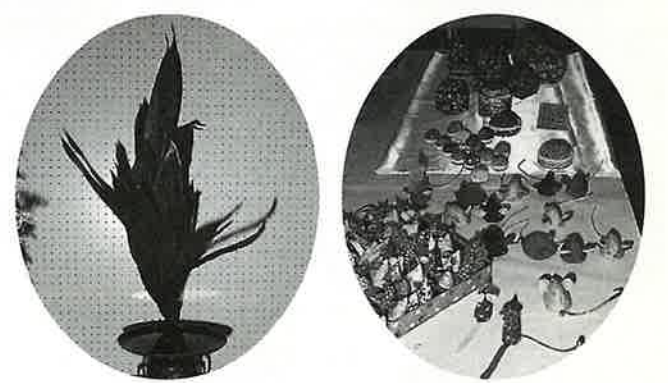
文化と芸術の秋



高森町文化祭 11/2~3



学校の作品展から



十一月二日と三日の二日間
にわたり、今年も林業総合セ
ンターで町文化協会（今村俊
男会長）と高森町主催による
第二十八回高森町文化祭が開
催されました。

この催しは県芸術祭参加の
企画であり、まちの素晴らしい
文化と芸術を広く内外に発
信するものです。

今年も文化協会員はもちろ
ん、各学校や一般から十七部
門の展示と発表があり、二日
間を通して二〇〇〇人のたく
さんの人がつめかけました。

出展・出演・参加団体紹介

- 肥後狂句 □俳句 □書道
 - 写真 □生花（小原流・草
月流・専正池坊・池坊・未生
流） □押し花絵 □盆栽
 - 絵画 □茶道 □手芸
 - 版画 □ペーパーフラワー
 - 牛乳パック作品 □高森寮
□梅香苑 □舞踊（満丸会・
松若会・若柳会）
 - 学校展
- （高森小・色見小・上色見小・
草部南部小・高森東小・草部
中・高森東中・高森中・高森
高校）



高森温泉館だより 年末・年始の開館日

高森温泉館をいつもご利用いただき、ありがとうございます。
皆様方のご要望にお応えして次のとおり開館しますので、ご利用く
ださい。（年末の12月30日までと年始の1月3日からは通常どおり（午
前10時から午後10時）開館します。）

- 12/31 休 館
- 1/1 初湯解放（午前9時から午後8時）
- 1/2 初湯解放（午前9時から午後8時）

あなたも准看護婦の 資格を取りませんか？

看護学生募集中

今がチャンス、自立へのワン
ステップです。奮って応募くだ
さい。（男女・年齢は問いません）

- 募集人員 三〇名
- 修業年限 二年間
- 応募資格 中学校卒業以上
心身ともに健康で、学業に専
念できる者。
- 入学試験 一月十四日（火）
- 試験科目 国語・数学と社会
または理科
- 願書受付 一月十三日まで。
- 月 謝 一万六千円

問い合わせは、阿蘇郡医師会
立 准看護高等専修学校
TEL 0967・34・0716
阿蘇町黒川1178

年金相談

国民年金、厚生年金、社会保
険についての相談を受けま
す。お気軽においでください。

■とき 12月25日（水）
午前10時から午後3時まで。

■ところ 林業総合センター
一階の林業相談室

入札結果（五百万円以上）

■工事名 奥阿蘇キャンプ場
周辺整備工事

■工期 十一月十五日から平
成九年二月二十八日まで

■金額 六百四十八万九千円

□請負者 (有)大阿蘇環境計画

**休日
在宅医**

12月15日	立野病院	Tel 〇111
12月22日	みなみ阿蘇 クリニック	Tel 2030
12月23日	藤本医院	Tel 2030
12月29日	平田医院	Tel 〇2020
1月1日	馬原内科医院	Tel 〇216
1月2日	東医院	Tel 〇309
1月3日	中村医院	Tel 2333
1月5日	立野病院	Tel 〇111
1月12日	寺崎医院	Tel 〇378

診療は午前9時から午後5時まで

*都合により変更になる場合があります。 広報たかもり
テレホンサービスでお確かめください。 ② 2222

年末・年始のぐみ収集

本誌6ページの「ぐみ特集」をご覧ください

おめでた おくやみ
1996. 10月受付分 敬称略

赤ちゃん たんじょう

滝 拳司郎ちゃん (旭通) 10/1生	男	父 和 正 母 とち子
井 涼香ちゃん (上在) 10/2生	女	父 正 成 母 美和子
本田 綾ちゃん (赤羽根) 10/7生	女	父 秀 雄 母 美和子
藤本 玲奈ちゃん (上在) 10/19生	女	父 吉 弘 母 美和子

すえながく お幸せに

(岩下 信次 高森・旭通 10/1
(浦塚) 由美 高森・昭和)

おくやみ もうしあげます

住所	御遺族続柄	死亡者	年齢
住尾 下原	濱原 龍喜 母	濱原 ケサジュ	73
草部 高	甲斐 ミツイ 夫	甲斐 直人	81
高尾 高	下田 ハナミ 夫	下田 廣喜	76
高尾 高	後藤 フミヲ 夫	後藤 磨	92
高尾 高	森田 勝 祖母	森田 イエ	91
高尾 高	森田 忠夫 母	森田 モエ	84
高尾 高	西森 連 妻	西森 サエ子	64

人口の動き

(10月末日現在)	
世帯数	2,583 (-2)
男	3,887 (-7)
女	4,180 (-9)
総 数	8,067 (-16)

善意の灯

ありがとうございました。
(敬称略)

■町社会福祉協議会へ
＜香典返し＞野尻三佐乙 工藤ツミ 濱
原龍喜 甲斐ミツイ 古澤多美夫 下田
龍浩 後藤英範 森田勝 佐伯誠喜
＜一般寄付＞高森寮 高森寮保護者会
九州電力大津営業所

■広報送料寄付 岩下昭和（熊本市）
甲斐世紀（京都府乙訓郡） 遠藤和子（奈
良県生駒市） 水口千衣子（西合志町）

長野の高森がテレビに

十月三十日水曜日、本町と同
名の町、長野県下伊那郡の高森
町（本誌の本年四月号などで紹介
が、NHKのお昼の番組で放映
され、初めて見る「高森」にみん
な目は釘付けになりました。

同町はりんご、桃、梨、ぶどう、
柿など「果実の里」として広く知
られており、この日は柿の収穫
とつるし柿の作り方や、生産高
では全国的に有名だと報じてい
ました。

もうすぐ正月。温かいコタツ
での団らん。そこにある干し柿
は長野の高森産かも知れません。
干し柿を食べるのが楽しみですな
りました。 広報たかもり 岩下

編集後記

作成締切日を変更しても、どこか
で同じ状況になることです。
現段階で、原稿入れから発送ま
での期間をコンピュータ導入
と印刷工程面での努力により最
大限短縮しているものの（20ペ
ージで正味10日間）、この問題は広
報誌の宿命であり、新聞・テレビ
などの「即時性」にはとうてい追
いつけないことです。しかしイン
ターネットをはじめとした情報
新時代の現代。即時性も大切なこ
とであり、今後も少しずつ「期間
短縮」への努力を続けながら、広
報誌は広報誌としての「より詳し
く」をモットーに、その特性を生
かしていきけるように努力してい
きたいと考えています。今後とも
よろしく願います。

毎月第3水曜日は休館日です。その日が祝祭日の場合は開館
して次の日が休館日となります。年末・年始の開館日につい
ては、このページの最上段をご覧ください

県のお知らせ

週四〇時間労働へラストスパート

労働時間の短縮は、「心の豊かさ」や「ゆとりある生活」を実現する上での重要な課題のひとつです。

現在、中小企業を中心として、週の法定労働時間に猶予(週四十四時間)が認められています。平成九年四月一日からはすべての事業場について、週四〇時間労働制が適用されることになります。皆様のご理解とご協力をお願いします。

詳しいことはお気軽におたずねください。
阿蘇労働基準監督署(一の宮)
TEL 0967・22・0628

県立技術短期大学校 学生募集

平成九年四月開校の熊本県立技術短期大学校の学生募集を行います。

■定員
生産技術科二〇名 産業機械科二〇名 電子技術科二〇名 情報技術科二〇名の計八〇名

■出願要項

- 出願資格 高卒及び高卒見込みの者。高卒者と同等以上の者
- 願書受付 一月六日(日)～十七日
- 試験日 二月九日(日)
- 試験会場 熊本県立大学
- 試験科目 数学Ⅰ・数学Ⅱ 英語Ⅰ・適性試験
- 合格発表 二月二十一日
- その他、詳しいことは熊本県職業能力開発課
TEL 096・383・1111
内線5258・5259番までどうぞ。

あなたの声からはじまる道づくり

今年六月、皆様方にお願ひした「みち」に対するご意見募集。おかげさまで全国からの三万五千人の方から、十一万件を超える貴重なご意見をいただき、厚くお礼申し上げます。いただいたご意見は、「二十一世紀のまちを考える委員会」において分析・検討を行い「ボイス・レポート」にまとめ、今後も有効に活用させていただきます。

「ボイス・レポート」については熊本県土木部道路建設課企画係 096・383・1111まで、お気軽におたずねください。

風薫る郷に



梅香苑展から



入苑されていた故藤宗敬さんが丹誠込めて育てられていた、たくさんの菊の大輪も展示。その意志を引き継ぎ、今も皆さんの手で大切に育てられています。

肥後狂句作品から

むつかしか 狂句作りも やおいかん
ひちくどさ 同じこつだけ また言わす
思い出し 彼氏んこつが 気にかかる

野尻北部地区でも文化祭



十一月二日(土)、旧河原小学校体育館を会場に、野尻北部地区の文化祭が行われました。これは地域おこしと交流を目的に、昭和五十一年から毎年野尻北部体育・文化振興会(鶴林巧会長)の文化行事として開催されているものです。

訪れた人たちは写真、絵画、俳句、手芸や生花、特産品などたくさん展示品一つひとつに熱心に見入り、また、地域婦人会の皆さんの心のこもったご汁などの料理に舌づつみを打っていました。



愛の献血



移動献血車がやってきます
あなたの善意をお寄せください

■とき 12月24日(火曜日)
午前10時から午前11時半まで。
午後12時半から午後3時半まで。

■ところ 林業総合センター

□次の献血予定日 3月24日(月)

広報たかめりから

今月は広報たかめりも昔話をちよつとお休みして、これまで皆さんから寄せられたご意見・ご要望、お尋ねをまとめながら、広報たかめりの紹介をしてみたいと思います。

問 い A4判になってから文字も大きくなり、読みやすくなりましたが、写真はもっと大きくなりませんか?
お答え ありがとうございます。まじの色々な情報もたくさんいただけるようになりました。文字をなるべく減らして写真はなるべく大きくしたいと考えていますが、月によってはお知らせすることが多く、写真が小さくなってしまうこともあります。今後とも期待にそえるよう努力してまいります。

問 い 月末の記事が翌々月号に載っているようですが、翌月号に掲載できませんか?
お答え ページ数との関係で変わりますが現在のスケジュールを大まかに言うと、前月の二十日から当月の二十日頃までの内容について、取材をしながら原稿をコンピュータで作成して二十日過ぎに印刷会社へ原稿(フロッピー)と写真を入れます。その後、翌月の取材をしながら校正(手直し)を行い、翌月の五日直後の水曜日に発送しています。

(五日が水曜日の場合は五日に発送)したがってお尋ねのように毎月末の記事は翌々月の掲載となります。しかしこれは原稿

風祭チビツスケツチ展 入賞者紹介

□熊日賞 山村章充(高森小六年) □高森町議会賞 村上哲朗(高森小六年) □JA阿蘇南高森中央支所賞 岩下大志(高森小五年) □南阿蘇畜協賞 岩下麻美(高森小五年) □熊北産業交通賞 平井めぐみ(高森小五年) □教育委員会賞 榎木野麻衣子(上野見小四年) □肥後銀行賞 伊藤理恵(高森東小四年) □文化協会賞 首藤佑氏(高森東小三年) □高森町商工会賞 本田真子(高森東小三年) □高森町賞 本田のりみつ(高森東小二年) □信用組合賞 あだちさき(上野見小二年) □ライオンズクラブ賞 後藤まりな(上野見小一年) □商店会賞 えとうゆり(高森小一年)





32.5kmを走り・歩く
男女ともに大会新記録を樹立

「苦しいけど頑張ります」
気力・体力・忍耐力を高め、
何事にも誇りをもって積極的に挑戦

毎年開催されている高森高校の「南郷谷チャレンジ大会」が、今年も11月21日（木）に行われました。これは32.5Kmという長距離を自己の体力に応じて歩き、走り、踏破することで、気力・体力や忍耐力を高め、誇りをもって何事にも積極的に取り組む姿勢を育もうというものです。

朝9時に出発した321名の生徒たちは高森峠を登り、奥阿蘇大橋、草部基幹集落センター、柳谷、高尾野、そして清米山を越えるという険しいコースに、みんな「自己の限界」に挑戦するように汗を流して頑張っていました。また、記念すべき10年目の今年、男女とも大幅に記録を更新する快挙を果たしました。この苦しかった経験と、それを成し遂げた達成感を誇りにして、これからの学校や社会生活に生かして欲しいものです。

大会結果（1位）

- 男子の部 興梠 大樹（2年）2時間15分（8分短縮、2年連続1位）
- 女子の部 森田あずさ（1年）2時間53分（19分の大幅な記録短縮）
- 完走・歩者 313名（完走・歩率97.5%）



男子の部で優勝した興梠大樹君の力走

十年目の長距離走・歩大会

高森高校だより



高森中学校3年生によるコーラス。きみきびとした態度で強弱のあるきれいなハーモニーが場内に流れた。

たかもり町民音楽祭 11/4



高森中のファンファーレで開会。



今年の司会者は後藤武さん（上左見）（写真左）と今村里美さん（高森幼稚園）演奏の合間に出演者インタビュー。



高森保育園児による開会宣言。



高森幼稚園の器楽合奏。難しいピゼーの「カルメン組曲」前奏曲に挑戦して見事に演奏。



上左見小の器楽合奏。毎年リズム感と音楽性あふれる演奏を披露。



高森小学校音楽部の合唱と合奏。みんなの心を一つにして、宮崎駿原作アニメの曲を軽快に演奏、合唱。



45から65歳までが心を合わせての南阿蘇民謡会の演奏。子ども三味線も頑張っていました。



ピアノ独奏の山村 麻子さん（高森中2年）

風薫る郷に音楽の調べ

秋の夜長の音楽鑑賞。ある時は物思いにふけりながら、心安らぐハーモニーと心を歌い上げるメロディーのとりことなり、またある時は何も考えずただジッとピアノの利いたリズムに身体を揺らす。そんな秋の夜長の音楽鑑賞ならぬ十一月四日の午後一時から、第十九回を数える「たかもり町民音楽祭」（岩下昭久実行委員長）が盛大に開催されました。

今年の出演者は十三団体、二個人。それぞれに日頃の熱心な練習成果を披露して、場内から大きな拍手が寄せられていました。

自分たちのことは自分たちで：手作りの音楽祭の意義

この町民音楽祭は「自分たちで出来ることは自分たちで」をモットーに活動してきました。行政の力を借りなければならぬ所はもちろん手助けを得ながらですが、企画構成から準備、実行、音響、照明、後片付けまで、民間主体による「出演者イコールスタッフ」という精神を忘れることなく、来年二十周年を迎えるほどに成長しました。

毎年、前日からの準備とコンサート終了後の後片づけでは各学校の保護者の皆さんも総出でスタッフとしての分担作業がてきばきと進められ、ここにも「自分たちのこと」としてしっかりと認識されているようでした。

文芸 POETRY PAGE

肥後狂句 神無月（阿蘇御神火会）

猫も杓子も 学歴で飯食うつもり
秋の空 留守番賃の値上げする
こらア大事 紹介状と行く医大
喉から手 さあ地ビールが出来上がり
こらア大事 俺りも連帯保証人
こらア大事 点滴せなんダイエツト
妙な学生 火薬の書物ばかり買う
こらア大事 給食室ア検査漬
一気呵成 老師の筆は舞う如たる
秋の空 風雲急な風が吹く

俳句（河原すずきの句会）

樹々の実の色濃くなりて鳥遊ぶ
大阿蘇の一人に惜しき秋景色
偕楽園シンボル梅は落葉まえ
我が影の影の長きや秋暮色
草の中残り南瓜が又一つ
枯れすすき一株の庭暮れ早し
瀬の本のコスモス園にポーズとる
根子肌の朝日に映えて紅葉燃ゆ

本田 訓子
後藤 法龍
森 正六
阿部タツエ
森 政隆
後藤やよい
本田 初雄
後藤あらし

「燃える若きやもん」「お母さんといっしょ」「動物は友だち」登場者募集中



創立から50年 誇りを胸に

草部中学校文化祭 11/17



創立当時の教科書やなつかしい文房具など、たくさんの方の協力により色々な資料が展示され、皆さん熱心に見入っていました。



草部南部小の子どもたちも器楽合奏で出演



2年生女子による阿蘇太鼓演奏



2年生男子による草部吉見神社の神楽奉納

学校・地域一体の文化祭

十一月十七日の日曜日、草部中学校の文化祭が行われました。昭和二十二年四月一日に開校した同校は今年が五十周年目。今年の文化祭はこれを記念して、「五十年目の今だから GO FOR IT! (がんばれ!)」をテーマに、地域と一体となった文化祭が繰り広げられました。

創立五十周年の展示では、創立当時の教科書や文房具、記録写真や当時の生活を偲ぶ生活用品や農機具なども展示され、訪れた卒業生や生徒たちは熱心に見入っていました。

また、ステージの部では生徒たちの発表、劇や南部小学校生の音楽発表、そして保護者と先生が出演し、創立五十周年をみんなで祝おうという気持ちでユースモラスに表現した寸劇「浦島太郎」も大好評。最後は同校生全員による創立五十年に捧げる構成詩「年輪」が披露され、同校の歴史や時代時代の思い出、また、生徒たち一人ひとりがそれぞれの想いを誇らしく堂々と発表して、見ている人に大きな感動を与えました。(写真最上段)

高森小サッカー部 郡大会で1位と3位

阿蘇郡・小学生サッカー秋季大会



本校のサッカー部2チームが10月26日(土)、一の宮町で行われた郡小学生サッカー大会において大健闘しました。「高森キッカーズ」(写真右側)が接戦をものにしてパート優勝、「高森ファイターズ」(縦縞ユニホーム・写真左)は3位決定戦で引き分けにもちこみ3位。これからもこのファイトを忘れず、勉強にスポーツに頑張りたいものです。(高橋)



町民音楽祭に久々の女性コーラスが登場。(高森中PTAママさんコーラス) 地域協力にも積極的に出演する上巻のファーマー・フォーエバー(FFB)と合同で、同バンドの山田良典さん作曲による「はなしのぼ」も演奏。この女性コーラスの流れが音楽祭に定着して欲しいものである。



高森の社会人バンド「ロング・ラン」70年代のロックをささいな音と声でみんなの心にうつたえかけた。



毎年、親と子どもで仲良く出演し、ほほえましい親子コーラスを披露している高森保育園。ちょっと緊張気味のお父さん、お母さんもささいな声が出ていました。



県の吹奏楽コンクールなどで素晴らしい成績を獲っている高森中の吹奏楽部。今年はファイナルを飾り、最後まで音楽祭を盛り上げました。



草部の阿蘇ウィングスの演奏。(本誌表紙にも紹介)ベンチヤーズサウンドや60年代の曲をじっくり聞かされた。



小人隊の編成ながら、厚みのある音を出かせた高森高校吹奏楽部。楽しい和音にも挑戦して見事なハーモニーを響かせた。



美しい声で大正琴の音を披露する草部流高森教室の皆さん。会の音から「大正琴の音色に魅せられて、みんなで練習に頑張っています」との声が聞かれた。



「出演者イコールスタッフ」の町民音楽祭の音響係の風景。左は阿蘇ウィングスの阿部さん。右はFFBの永田先生(上巻見小)。

苦しい実情もあるが、これも手作りの良さ。まちの誇りに思いたい。

これまで実行委員会と一般の協力者、出演団体の盛り上がりで出演者数も増えて大規模の音楽会になり、県内でも貴重な文化活動になったとは言え、関係者の皆さんには色々な悩みがあるようです。この点について実行委員会の皆さんからは「出演者イコールスタッフは当然だが、演奏と準備の両方が不十分になるといえる。観客の皆さんの演奏時間を多くした限度。どうしても持ち時間が少なくなる」「大がかりになり誇りにも思いますが、手が回らなくなったというのも事実」「静かに演奏に耳を傾け、フィナーレまで聞いていただきたい。もちろん出演者も、聴く人の心を惹き付ける技術面での努力を忘れてはならないが、忙しくて難しい面もあるが、もつと社会人バンドの参加が欲しい」などの声が聞かれました。

音楽祭の最後のインタビューで若下昭久委員長は「これまで協賛、協力いただいた多方面の方々のおかげで、この音楽祭が永く続いてきました。これもまちの文化であり、みんなで誇りに思いたいです。来年は二十周年でもあり、特別な企画で皆さんに楽しんでいただくこと、みんなで計画中です。これからもご理解と協力をお願いします。」と話されていました。

ふれあいコンサート



出演者が一同に集まり、熱心に音楽祭の企画、構成、実行計画を協議中。



大型のサイドカーに乗る芹口さん。
(後部座席は二男の博文さん。サイドカー席は姪の美沙子さん)

芹口さんの趣味は多彩な中、バイクのレストア(古いバイクを新車同然に仕上げる)が最大の趣味。子どもの頃から機械いじりが大好きで、現在珍しいオートバイを5台も所有。みんな我が子同然で毎日磨きをかけることに余念がない。一方奥さんの章子さんの趣味はドライブと温泉めぐり。お二人とも、明るく楽しく、仲良しの精神で元気に毎日を過ごされています。

Uターンについて考える

社会人ではあれ、二人の子どものこともあり、神奈川の家に居て、家財道具の整理など引越す準備に追われる毎日。新しい土地での新しい生活への希望と不安が交錯する毎日でした。

土地が決まってからは永野原の実家芹口正八さん宅に家が完成するまでお世話になりました。

さあ いざ住んでみて

芹口さん とにかく若い頃から働きづくめ。どこにでもあることでしようが、子どもの教育と家のローン。家内と二人でとにかく休日も無しに頑張りましたね。子ども

ものことは家内任せという状況が長く続きましたが、子どもたちも優しい心を持った社会人に成長してくれました。退職から今、丁度二年目ですが、そんな中、「高森移住」計画でバタバタしましたのでほとんどゆとりができませんでした。私の夢が叶った今とはにかくしばらくのんびりしたいと思っていますが、ご近所、親戚、友人との交流も楽しくてしかたありません。(笑い)

奥さん 主人はもと「ジツ」としての性格ではありませんので「ウロウロ」は何も心配はしていませんが、やっぱり身体のことには気を付けて欲しいと思います。

気が付いた高森の印象 高齢化社会は怖くない

生活面で主婦の立場から気がつくことは、物価は安くて光熱水費も二分の一など、贅沢すればきりはありませんが生活はしやすいと思います。

芹口さん 私は退職したからといって、老け込むつもりはありません。むしろ年々若返っているようなつもりです(笑い)。

今からは高齢化社会になる時代ではありますが、みんなが歳をとるわけですから、ここは逆転の発想で「八十歳になっても若きやもん」：歳をとったと考えることが大切だと思います。

また、労働人口不足で高齢者を雇用する必要性も増してくると思います。もちろん、これも働く場所がよりたくさんあればのこと。やっぱり若い人が働ける場所を増やすことが町の活性化につながる早道だと思います。

私もまだまだ働くつもりです。何かないかといつも思っています。(笑い)

奥さん これは高森町だけのことでありませんが、道路標識や観光案内板が少なく、またあってもわかりにくいですね。地元に住んでいるとわかっていてのことです。どこが問題か気が付かないと思いますが、他県ナンバーの方が

絶対やめてください ゴミの不法投棄 投棄を見かけられたら 連絡ください



11月11日の雨の中、緊急に回収した粗大ゴミ。高森町周辺に捨てられていました。(現在、投棄者を調査中)

あらためよう「自分の目の前がきれいなれば、それで良い」の考え

相変わらずなくならないゴミの不法投棄。不法投棄があつた場合、県や町、県警本部では「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(罰則 投棄物の回収指示や六ヶ月以下の懲役または五十万円以下の懲役)に基づき、厳しく対処しています。

ゴミは最後まで責任を持って、正しく処理しましょう。また、不法投棄を見かけられたら、すぐに連絡ください。

TEL. 2・1111 高森町役場・保健衛生係

年末年始の ゴミ収集のお知らせ

十二月三十日まで	平常どおりの業務
十二月三十一日 から一月五日まで	休みとなります 三十一日のみ、清掃センターへの直接持ち込みを午前九時から十一時までお受けします。
一月六日から	平常どおりの業務

皆様方にはご迷惑をおかけしますが、ご協力をよろしくお願い致します。



回覧文書で既にお知らせしたとおり、十二月一日からビン・ガラスの割れ物と空き缶・なべ類など金物類を別々の日に収集する「不燃物の分別収集」を開始しました。

これは資源の有効活用とゴミ収集や処理経費の削減を目的としたものです。これから正しい分別により、各ご家庭にお配りした各地区毎の収集日程表によって、ゴミ出しをお願いします。皆様のご理解をよろしくお願い致します。

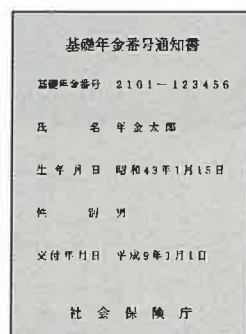
高森町
阿蘇広域行政事務組合南部清掃センター

国民年金だより

新年1月からの基礎年金番号導入
今月中に番号を通知します
大切に保管してください

先月号で詳しくお知らせした基礎年金番号制度の導入。新年一月からの実施に向けて、今月中に社会保険庁から皆様に「基礎年金番号通知書」が通知されます。また、年金受給者の方へは、基礎年金番号が記載された新しい年金証書が送付されてくることになっています。いずれも、基礎年金番号通知受取後に特別な手続きは必要ありません。それぞれ、年金手帳、年金証書と共に大切に保管しておいてください。

国民年金の第一号・第三号被保険者
直接本人に封書で通知。



厚生年金・共済組合の第二号被保険者
事業所・共済組合を経由して本人に通知。

年金を受給されている方

基礎年金番号が記載された、新しい年金証書を本人に送付。年金種別を識別する年金コードも記載されています。

若い人も老後のことを 考えましょう

■万一、複数の基礎年金番号通知書が送付されたら、氏名、生年月日などの記載に誤りがあつたときは、高森町役場 町民福祉課 国民年金担当

電話 2・1111 内線130番までおたずねください。

がわかって帰られますので混乱はありませんが、Uターンの場合、地域とのコミュニケーションが少ない場合が多いようです。もちろんこの逆で、地域の風習、慣習になじみ、公役に参加するなど地域とのふれあいを求めて来る人もたくさんいます。

■教育のこと

義務教育となる小中学校については特に問われませんが、高校以上になるとどうしても気になる場合が多いようです。これは郡内の高校に課題があるという意味ではなく、土地選択と同じく都市部に比べて選択の幅がないことも事実だということです。

阿蘇広域行政事務組合

Uターン委員会委員に聞く

山田 良典さん(上色見前原)

この委員会ではUターンに関する問題を提起し合い、対策への検討を行っています。

今後シンポジウム開催により対策と方向性が示されますが、諸問題に対し、継続的かつ具体的な取り組みが必要です。

私も平成元年にUターンしました。Uターンの場合は特に言えることですが、地域とのコミュニケーションが欠かせません。自らの気持ちで積極的に地域の活動や公役にも参加し、地域に与りあう気持ちを持ててはなりません。

初収穫！

自宅の菜園での今年の夏の初収穫。大きなスイカが5個、カボチャ20個、ニガウリ、ナス、辛ユウリは数え切れないほどたくさん採れてニコニコ顔のご清見。

Uターンについて考える

様々な事情でふるさとを離れ、日本全国には高森町を「ルーツ」として生活されている人はたくさんいます。「仕事がなかったから」「家庭の事情で」「結婚したから」などなど、色々な事情がそこにはあると思います。この広報誌をお送りしている方々からも「たかもりは良いところ」「できることなら帰りたい」という声も聞かれ、この方々のお気持ちを考えると私たちは生まれた町に住むことができることに感謝の心を忘れてはならず、高森町を発展させなければならないという責任を強く感じます。

高森に移り住む「Uターン」現象と共に、故郷の高森に帰り住むという「Uターン」現象も近年少しずつ増えてきており、町村や阿蘇郡全体の振興について広域的に考える阿蘇広域行政事務組合ではこれらの対策を講じています。

今回は「やっぱりふるさとに帰りたい」という方の取材を通し、「行政として何をしなければならぬのか」。また、「地域の一人ひとりとしてどう受け入れたらよいのか」についてみんなで考えてみましょう。また、帰りたいと思っておられる方の参考になればと思います。

たかもりに帰りたいと思ったのは？

今回、この企画のために快く協力いただいたのは芹口明人さん（大字永野原出身・62歳 妻子さんご夫妻）。

芹口さんは昭和三十一年に福岡の運送会社に就職。その後昭和三十六年に神奈川の旅客運送会社に転職。一昨年に定年退職され、現在旭通に住居を新築されて奥さんとの二人暮らしの生活を送られています。

芹口さん やっぱり、この自然豊かな生まれ故郷の高森にいつか帰りたいという気持ちからです。親戚、知人、友人たくさんの人とのふれあいを大切にしたいし、私たちが住んでいた神奈川県横浜市はご存知のとおりの大都会。私たち夫婦もまだまだ若いつもりではありますが、あの雑踏には付いていけない心境もありました。そこで定年退職と同時に思い切って熊本に帰ろうという気になり。そこで家内や二人の息子たちとの大家族会議が始まったわけです。（笑い）

奥さん 若い頃から主人のふるさと高森への愛着は良く知って

土地探しから始まる住居問題

芹口さん とはいったものの、どこに住むかが最大の問題。退職した時から土地探しを始めました。ところがこれがなかなか難しく一時期 白水や大津まで広げて考えましたが、「やっぱり高森町に」という気持ちから何とか現在地を決定することができました。

しかし最初は何か手探りという状況でした。土地だけでなく、建築、電気、水道などを含めて生活の拠点となる大事なことです。本当に難しい面が多いと感じましたが親戚、友人、知人、土地所有者の方、不動産会社や建設関係の皆さんの協力で今年の三月末に住居を完成させることができました。

奥さん 私は土地が決定する間、

阿蘇郡のUターン・Uターン対策のあらまし

高度経済成長時代は都会へ都会へと人の流れがありました。地方の時代となった現在、Uターンの受け入れは各町村や阿蘇の将来には大切なことになってきました。

この対応については現在、阿蘇広域行政事務組合が中心となり、Uターン委員会での検討、空き家調査、シンポジウムなどを行っています。特に委員会での検討は今後のUターン対策への指針づくりに大きく役立つこととなります。

十二月三日、蘇陽町で具体的な対策検討を含めたシンポジウムが行われました。原稿締切の都合上、その内容は来月号以降で詳しくお知らせします。

委員会での検討事項（要点を抜粋）

■住宅について

新築の場合は土地と共に水道、電気・下水などを含めていろいろなことに注意しなければなりません。公営住宅は空きがなく、空き家もなかなか希望に合わない場合が多いようです。この問題がUターン対策の最大の課題です。

■地域とのつきあい・ふれあい

Uターンの場合は地域の実情

国民健康保険だより 国保と老人医療は助け合い

国保と交通事故

本来、国民健康保険は自分自身の病気やケガを対象にしたものです。

交通事故など第三者の行為によるケガなどの治療には第三者が治療にかかる費用を負担し、原則として国民健康保険の使用はできない（保険証が使えない）ことになっています。しかし、弁償が不十分であったり、遅れたりする場合には、国民健康保険で治療が受けられます。

ただし、次の条件や届出が必要で、

一、加害者から現実に治療費を受け取っている場合（示談）は、国保は使えません。

二、国保を使い診療を受けるときは「第三者行為による傷病届」（用紙は国保係に備え付け）を提出してください。

■届出に必要な書類

国民健康保険証、印鑑、交通事故証明書（後日提出可）

（参考）届出により、国保で治療を行うようになると、国保から病院に医療費（本人負担分を除く）を支払い、後日被害者にかわって国保が加害者に請求することになります。（損害賠償権の代位取得という）

税務課・国民健康保険係
2・1111 内線151番

大至急 受けてください HIV抗体検査

厚生省・熊本県

阿蘇保健所 0967-32-0535

薬害エイズ問題において、血友病などの治療のため、投与された非加熱血液凝固因子製剤にHIV（エイズを引き起こすウイルス）が混入したためにHIVに感染したことが問題になっています。

この非加熱血液凝固因子製剤は、現在は流通しておりませんが、下記の要件に該当すると思われる方は注意が必要です。できるだけ早く、かかっていた病院または保健所でHIV抗体検査を受けられますよう、おすすめします。不明な点はおたずねください。

検査の対象者

- 時期 昭和53年～63年
- 内容 上記期間中に次のような病気で入院したことがある人
- 疾病名
 - 新生児出血症（新生児メレナ、ビタミンK欠乏症等）等の病気で、「血が止まりにくい」との指摘を受けた人。
 - 肝硬変や劇症肝炎で入院し、出血が著しかった人。
 - 大量に出血するような手術を受けた人。（出産時の大量出血も含む）
- 検査場所 かかっていた病院、最寄りの保健所

社会福祉協議会だより



草部中学校二年生 梅香苑で「ボランティア一日体験」

十月二十六日（土）、草部中学校の二年生十一名の皆さんが特別養護老人ホーム「梅香苑」でボランティア体験をしました。これは、全国老人福祉施設協議会の「老人ホーム一日体験事業」として行われたもので、生徒の皆さんはお年寄りを実際に介護し、レクリエーションなどでの交流により、実際にふれあい、体験する重要性、人間愛やボランティア意識の大切さを学んだようです。

（研修内容）車イス、介護用ベッドの取り扱い方と実体験。食事介助、お手玉渡し競争、車イス競争や自己紹介による交流活動など）





10月27日在熊高森会設立総会

満場一致で一本化

熊本市にはたかもり出身の皆さんがたくさん住んでおられます。この皆さんの在熊野尻会、在熊草部郷友会と高森・色見出身者の在熊高森会がこれまで互いに「ふるさと・高森町のために」と色々の活動を展開されてきました。

この三つの会の活動と和を生かしながら、故郷たかもりのために一つになろうと十月二十七日の日曜日、熊本市の鶴屋ホールで設立総会が開催され、満場一致で会則承認、評議員・役員承認、事業計画と予算案の承認などが行われ、三つの会の一本化が決定して、新・在熊高森会（初代会長後藤包氏・会員九百名）が発足しました。

この日、後藤包会長は「私たちが在熊者は郷土高森町を愛し、早くから相集い、親睦を重ねながら、郷土の発展に寄与しようとしてそれぞれの活動を続けてまいりました。そして皆さん方のご理解で高森は一つとの機運が高まり、各会の代表者による世話人会の皆さんと五十三名の準備委員会（この会は評議員会に発展）の皆さんのお力により、本日ここに設立総会を開催する運びとなった次第です。

そして、皆様方のご賛同によって、今ここに新・在熊高森会が発足しました。皆様のご信任を得て精一杯の努力を重ねるつもりでありますので、同郷の誼みで今後助け合いながら一致団結し、ふるさと高森町の発展に尽くしましょう」とあいさつ。場内の会員、来賓の皆さん二百名から大きな拍手が寄せられていました。

在熊高森会 組織（抜粋）

▽顧問 津留正、古澤孝喜、本田了城、▽会長 後藤包、▽副会長 甲斐為義、甲斐則一、古木幸夫、▽総務部長 伊藤政明、▽経理部長 古木幸夫、▽組織部長 工藤辰美、▽行務部長 古澤昭二、▽女性部長 矢田美代子、▽青年部長 後藤今朝人、▽監事 後藤光雄、野尻逸司、本田智康、▽評議員五十三名、旧高森出身十五名、旧野尻出身十五名、旧草部出身十四名、旧色見出身九名

今後の活動（おもなもの）

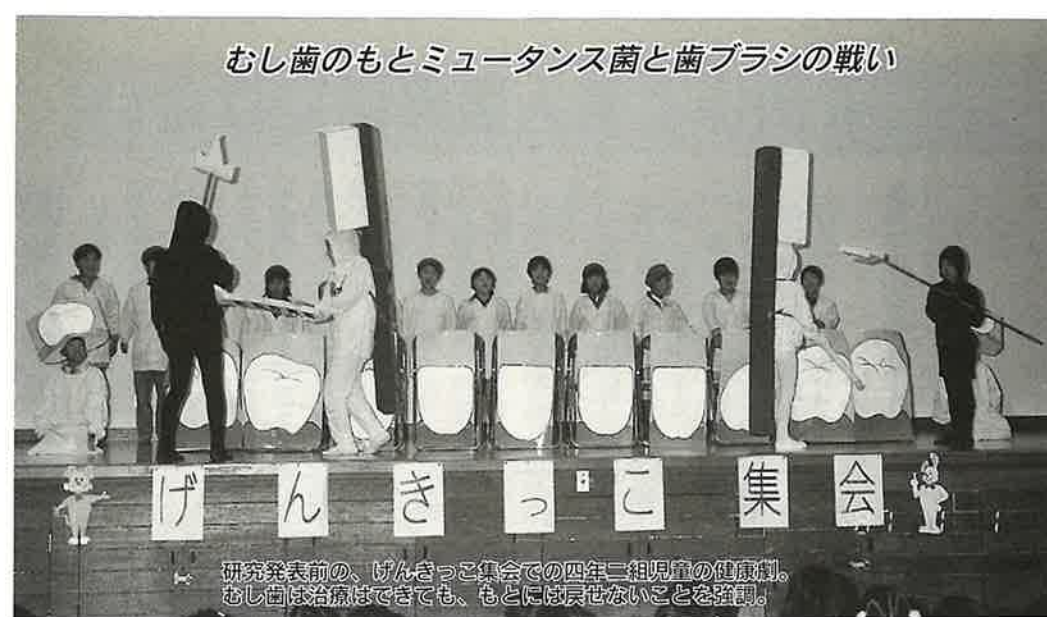
▽十二月一日阿蘇郡人会農業祭り（下通りアーケード街の特産品の宣伝販売で高森をPR）等、ふるさと高森町の発展と、まちおこしに貢献。▽会員相互の交流・親睦と会員拡充。▽高森町内の女性団体、青年団体などの情報交換・交流。▽ふるさとの情報誌「広報たかもり」の直接による一括受け取りと会員への回覧など。

高森は一つ



「同郷の誼みでみんなで助け合い、高森町の発展に尽くしましょう」とあいさつする在熊高森会、後藤包会長

野尻・草部・高森・色見の特色と和を生かし
ふるさと高森町の発展に尽くしたい



研究発表前の、げんきっ子集いで四年二組児童の健康劇。むし歯は治療はできても、もとには戻せないことを強調。

むし歯予防 研究発表会



きちんとみがいたつもりでも口の中には、まだ食べかすやバイキンがいっぱい



「歯に良い食べ物を知ろう」栄養士の財津先生との連携による授業。いろいろな食品を健康な歯にどう関係ある、ないの意見を出し合う。結局、歯ぐきを強くするためには固い食べ物も大切であり、また、栄養面からも何でも食べましょうとの説明にみんな納得。（6年1組 岡崎美穂教諭）



「歯に良いおやつってどんなもの？」食育教諭の佐藤先生とのチーム・オーダー授業。リンゴやサシなどの果物が良いこと、クッキーやキャラメルは歯につまるから気を付けよう、みんなきちんと理解していたようです。（2年1組 久保田恵子教諭）

歯の大切さ
しっかりと学びました

たかもり出身の皆様へ

広報たかもりからのお願い

■転居のときは連絡ください
広報たかもりが宛先不明で返送されることしばしばあります。住所、氏名の変更など、早めにお知らせください。

■ふるさとへの熱い想いお寄せください
ふるさとへの想いや近況報告、たかもりの発展に役立つお住まいの街の紹介などを寄せてください。本誌で紹介いたします。

■広報郵送料のご協力をお願いします
本誌は毎月三千三百部を印刷し、町内配布と共に北海道から沖縄までのたかもり出身の皆様にもお送りして「ふるさとの便り」としてご愛読いただいています。

皆様方のご協力により、昨年度は十一万三千百円、本年度も既に九万円を超えるご寄付をいただきました。誠にありがとうございます。（寄付いただいた方はお名前を紹介）

本誌は郵送の場合、一ヶ月に百九十円がかかります。（広報誌代は無料）引き続き、現金（小為替など）や、九十円以下の少額切手で一年分程度のご寄付を毎年お願い致したく、よろしくお願ひ申し上げます。

子どもたちの心に
深く浸透した健康意識
この気持ちを忘れず
広く、永く伝えて欲しい

十月二十四日の木曜日、高森小学校（佐藤昭也校長、児童数三三三名）で、歯科保健とむし歯予防についての研究発表会が行われました。

これは同校が文部省から「むし歯予防推進指定校」に指定され、昨年度からの二年間、積極的な「むし歯予防」についての教育の実践発表を行うことを目的としたもので、県内、町内から百六十人というたくさんの先生方、出席いただき、盛大に開催されました。

この日はまず体育館に来賓、先生、児童が集いオリエンテーションが行われ、児童たちのナレーションでのビデオによる学校紹介やむし歯予防をうったえる劇があり、その後各教室に移動して、公開授業が行われました。

子どもたちはたかさんの先生にちよつと緊張気味ながらも、日頃、普通に取り組ん

まち社会教育の振興に貢献

全国社会教育委員 連合会表彰を受賞



森 正六さん

本町の社会教育委員長、森正六さん（79歳・河原）が十月二十三日、千葉県で開催された全国社会教育研究大会の席上で、全国社会教育委員連合会表彰を受けられました。

森さんは、社会教育関係の役職を多数歴任。町議會在職中も社会教育の重要性を認識され、中央公民館の設置や社会教育委員定数の是正、昭和五十八年の社会教育答申に努力されてきました。

これらの功績とともに、「社会教育は地域から」を理念に、永年、河原地区公民館長として公民館の整備、地域と一体となった文化・スポーツ行事、青少年育成事業など地域の発展のための活動にも指導者として貢献しながら、現在も本町のみならず、郡社会教育委員連絡協議会会長、県社会教育委員連絡協議会理事として活躍されています。

■昭和54年4月 町社会教育委員・副委員長就任
■昭和62年4月 同委員長就任
■平成8年2月 郡社会教育委員連絡協議会会長、県社会教育委員連絡協議会理事に就任

農業ニュース AGRICULTURE NEWS

平成8年度 熊本県農業功労者表彰

熊本県農業功労者の表彰が11月11日、熊本市のホテルキャッスルで行われ、本町から次の3名の方が表彰されました。この表彰は農業への精励と農業関係機関での指導的地位、そして県や町の農業振興と発展に大きく寄与された方に贈られるものです。受賞者の皆さんの受賞を心からお慶び申し上げます。

野菜振興表彰



大字河原 後藤 健夫さん

昭和29年、就農と同時に高冷地の夏秋野菜の産地確立、キャベツ生産体制充実と共販販売に永年努力されながら、農協キャベツ部会園芸部長として、地域農業のリーダーとして活躍。また、農協の役員として組合員の所得向上に努力されるとともに、町農業委員、農業振興連絡協議会委員として本町の農業振興の発展に努力されています。

略歴 昭和56年高森町農業委員、野尻農協理事、平成5年町農業振興連絡協議会委員。平成6年JA阿蘇南野尻中央支所園芸部長等を歴任

たばこ振興表彰



大字芹口 後藤 進昭さん

葉たばこ（在来種）生産農家の中心的存在で、省力化のための葉たばこ共同育苗施設の建設参画や台風時期以前の収穫を目指した早期植付け試験栽培を行うなど、たばこ振興に対する功績には大きなものがあります。

また、町の農業委員や農業経営コンサルタント推進委員に就任し本町の農業振興に貢献されています。

略歴 昭和51年からたばこ耕作組合青壮年部役員、耕作改善検討委員会委員、生産組合長、耕作組合推進委員などの県や郡、町の役員を歴任。

また、平成元年度から7年度まで町農業委員として活躍。本年9月に町の農業経営コンサルタント推進委員に就任して現在に至る。

野菜振興表彰



大字色見 山田 金光さん

恵まれた草資源を生かし、山田氏飼育の母牛は早くから改良が行われ、資質の高い素牛としてその仔牛は全国から注目を集め、山田畜舎系統牛は全国各地産の肉牛として活躍しています。現在も優れた成牛の飼育と共に、メロンとの一貫した複合経営を樹立。メロン栽培においてはいち早く施設栽培に着手されるなど、日々の研究努力と高森町農協メロン部会長として地域のメロン普及に貢献。本年度、県畜果物消費拡大協議会表彰も受賞されています。

略歴 昭和28年4月就農。昭和62年から平成3年まで、高森町農協メロン部会長等を歴任。

高森小 歯科保健

今回の研究発表会には、会場の体育館内に、具体的かつ多角的に分析・研究された展示がたくさんありました。

その中で6年生全員で研究を進めた「むし歯と唾液の関係」の研究発表は、県科学展の「県優賞」を受賞している素晴らしいものでした。

みんなでいろんな食品を食べて口の中の酸性度を計りながら、ダラダラ食いが一番悪く、食べたならなるべく早く歯を磨くことの大切さを、この実験から身をもって学んだようです。



歯科衛生士さんとのチーム・ティーチング。染め出し液を使って実際に歯の汚れを取りながらフランクコントロールについて勉強（5年1組 浪辺先生教諭）

全体会でのまとめ（要旨）

物を噛み、食べるということは、私たちが生きていく上で最も大切なことであり、歯科保健だけでなく健康に関する教育は命に関わる大切なことであると強く認識しなければならない。

むし歯が多いというのはしつけや食生活など、家庭生活での乱れからくることも多い。家庭と学校が一体となり、子どもたちの健康をしっかり守っていかねばならない。

今回の、高森小むし歯予防推進指定校の取り組みは子どもたちの心に歯磨きと歯を大切にすることの重要性を理解させることができたばかりでなく、家庭や地域、行政そして私たち教育の場においても更に深く意識の高揚が図れたものと思われる。それぞれの立場で今後もこの研究と取り組みを継続させよう。

聞いてよ お父さん お母さん
私たち 子どもだけでなく
いっしょに歯を守りましょう

痛い むし歯だけでなく
歯ぐきの病気が増えてます
入れ歯になると大変だよ
朝、昼、夜と ご飯を食べたら
ブラッシング

いっしょにゴシゴシブラッシング
ていねいにゴシゴシブラッシング

いるむし歯予防について、はきはきと発表し、また、歯みがきタイムでは低学年の子どもたちも一本一本ていねいに磨いていました。

その後、先生たちは低・中・高学年に分かれての分科会や最後の全体会に参加。同校の明快な指導方針と展示物などでも多角的に深く分析・検討された成果をもとにして、熱心な研究・討論が進められていました。

何と言っても二年間のこの取り組みは、むし歯予防だけでなく健康の大切さを子どもたちの心にしっかりとつづけて、私たちおとなもその重要性を再認識することができた素晴らしいものだと思います。

また、授業はもちろん多忙な学校教育の中で、子どもたち一人ひとりに合わせた指導や研究発表のためにご尽力いただいた先生方に対し深く敬意を表し、感謝申し上げます。

こどもたちはこの二年間の経験を忘れず、生涯を通して歯と健康を守る気持ちを大切にしていく欲しいものです。

また、子どもたちに負けず、私たち大人も歯を大切にすることが健康な生活をおくりたいものです。



人権尊重の優しい人づくり・まちづくり

町PTA 連絡協議会講演会 11/10

「村を育てる学力 子育ての忘れ物」



家庭教育

子どもたちの
すばらしい
心と身体を
育むために

Family
Moral
Education

カバゴンがやってきた

PART 2

十一月十日の日曜日、草部中学校体育館で町PTA連絡協議会(田上美男会長 主催)による研修大会が行われました。今年のテーマは家庭教育と地域教育。まさしく人づくりから地域づくりそしてまちづくりへという保護者や先生方の熱い思いがひしひしと伝わる有意義な大会でした。この大会の講演会では、本町の家庭教育講演会(七月十八日中央公民館本誌八月号で既報)でも講演いただいた全国的に有名な教育評論家、阿部進先生の講演がありました。今回も家庭教育の重要性を更に強くうったえていただき、講演後も先生を囲んで意見交換会が行われ、活発な討議が行われていました。

講演の要旨

教育の重要性

教育が大切なことであることは言わずと知れたことです。問題は保護者や先生がどれだけ真剣に考えているかということです。そして親と教師と子どもの関わり方次第で良くもなり悪くもなることを、更に深く認識していただきたいですね。

子どもたちが学びやすい環境づくりのために、日本全国いたる所に先人たちがその地に学校を作ってきた願

いと思いはものすごいものがあります。これを誇りに思い、地域と一体の教育が子どもたちにもちろん、地域づくりにだけ有効なものかを再認識してみましよう。

ゆとりがない今の教育

教育はその地域ごとの特性を引き継ぎ進歩していくものです。しかしそういった状況は理想となってしまう感じがあります。子どもたちは塾や習い事でゆとりがなく、先生たちも授業はもちろん、クラブ活動、生活指導、進路指導

ト君とわかりましたが、マート君は僕が大きくなったので、すぐにはわからなかったようです。引率の秋山さんの説明でマートも気づきビックリして、一緒にいた家族の方も喜んでいただきました。僕はマートとは別のホワイ



ホームステイ先のマックリーニ一家と。本町のALETを退任し帰っていたヒクラー先生にも再会。(通訳などで協力)
一昨年来町した経済開発団体代表のキヤロルさん(後列左)の姿も見える。

認め合い、助け合う心を育てる国際交流

トフィッシュという町のマックリーニさんという牧師さんのお宅にお世話になりました。教会というのは初めてでもあり、ちよつと緊張しながらもミサのお手伝いもしました。僕は日本を紹介しようと思

作ったことはありませんでしたが何とかできあがり、マックリーニさんの家族もおいしく食べていただき、日本食を通して日本の一面を紹介できて良かったと思いました。このホームステイではリ

ハイクングでは行きたいと思っていたグレイシャー国立公園を目の前にし、川の水の美しさ、そして色々々きれいな花やプレーリードッグという小動物や一番見たかったマウンテンゴート(野生の山羊)な

どもみることができて嬉しかったです。日本では見ることもできないほど視野が広く、遠くまで山が続いている雄大な景色に感動しました。

ホームステイ最後の日はマート君の家に招待され、僕の大好きな釣り(フライフィッシング(疑似釣り))にも連れて行ってもらいました。映画などで見ていた様にはうまくいきませんでした。何回か練習するうちに動きは様になっ

てきました。でも結局一匹も釣れませんでした。とても良い思い出になりました。他にも色々な思い出ができましたが、この研修を振り返って考えると、もう少し英会話ができたら、思ったことが伝えられたり、相手の気持ちをもっとわかったらいいな...と思いました。とてもお世話になったホ

ストファミリーのマックリーニさん一家と別れるときは悲しくなり、また、きつと来るぞという気持ちでカリスベルを後にしました。このような素晴らしい機会を与えていただいた方々に感謝しています。本当に素晴らしい夏休みになりました。

幼児歯科教室

本町では、特に乳児期から3歳までにむし歯になる子どもが多いという調査結果があり、1歳半の乳幼児検診の際にほとんどがむし歯になっていたという事例もあります。

このため町では、乳幼児を対象とした「幼児歯科教室」を開催して、むし歯撲滅への取り組みを強力に推進しています。

このむし歯予防を「入口」として、健康づくりをみんなで考えていきたいと思います。



参加しましょう！幼児歯科教室 歯科教室は2回構成で実施。歯科検診、歯科講話、歯科衛生士による上手な磨き方の実技指導などが行われています。1歳から1歳3ヶ月児の全対象者に通知するものの、参加者が約3分の1という実情ですが、参加者から「わかってたつもりでしたが、この教室で自分なりに初めて気が付く面も多く、参加して本当に良かったです」という声も今までたくさん聞かれました。皆さんの積極的な参加をお願いします。

幼い子ども「歯がいたいよ」とは言えませんが

生後六ヶ月頃から生えてくる子どもの歯。育児で忙しく、子どもの口の中までみる余裕が無いのも事実で、「ついうっかり。気が付いたらむし歯になっていた」ということにならないように、気を付けましょう。

幼い子どもは歯が痛いとは言えませんが。幼児期のむし歯予防は、歯が生えてきたら、お父さん、お母さんが正しい歯磨きをしてやりながら、むし歯になる前にいち早く気付くことから始まります。

もうすぐ 税申告の時期 さあ 決算準備を始めましょう

記帳に基づく正しい申告を
商売などをしていらっしゃる方が、自分の所得を正しく計算するためには、毎日の取引をきちんと記帳し、保存しておくことが必要です。また、毎日の取引を正しく記帳しておけば、経営内容も正確につかむことができ、事業の発展に役立てることもできます。

この青色申告では正規の簿記の原則に基づく損益計算書のほか、貸借対照表を添付して期限内に申告した場合には、所得の計算上有利な青色申告特別控除(最高三十五万円)制度の適用が受けられます。この青色申告開始の手続きは、「青色申告承認申請書」を税務署に提出していただくだけで結構です。

記帳や決算、税申告、青色申告に関するおたずねはお気軽にどうぞ
阿蘇税務署
電話0967・22・0551

軽油引取税 免税証 (農業分) の申請をお忘れなく

農家の皆様がトラクターなど農業用機械に使われる軽油について、軽油引取税の免税証を交付します。ご希望の方は次の要領で申請を行ってください。

■申請期限 1月27日(月)から31日(金)まで

■申請に必要なもの

①申請書(県事務所にて配布) ②平成9年度の耕作予定表 ③耕作証明書(町農業委員会で発行。借地がある場合は土地賃借に係る契約書の写し等及び貸し主の耕作証明書) ④免税機械等の所有・使用証明書(役場で発行)又は所有・使用を証明する書類(売買契約書、リース契約書等) ⑤機械の写真(横と後ろから撮影したもの各1枚。メーカー、型式等がはっきり判るもの) ⑥印鑑

■すでに免税証の交付を受けている方は、免税軽油使用者証をお持ちください。また、登録機械に変更がない場合は、④と⑤は必要ありません。

熊本県阿蘇事務所 税務課 課税係
0967-22-1111 (内線324番)



☆特に三歳までの間は、子どもにスキンシップで愛情を注ぎ、適正、的確なしつけをしましょう。
☆時間は短くても子どもとの対話を欠かさず続けましょう。



阿部先生の講演の後の意見交換会風景。意見発表者の言葉に耳をかたむける参加者たち。各学校、保育園、幼稚園から教師や保護者など、たくさんの方が参加。

など、大変忙しい状況にあります。そんな中、親はしつけをはじめとする子どもの人づくり教育も学校の責任としてしまっている現状があり、これではイジメや不登校などの現実の問題はいつまでたっても解決されないでしょう。子どもも辛いし教師も辛い、そして親も辛い、そんな状況はみんなの力で打破していかねばなりません。

子どもの成長が見えること、実感できることが真の教育なのです。

どれだけ真剣に子どものことを考えているか？

皆さんは子どもさんの教科書や学校からの配布物にどれだけ目を通していますか？これは皆さんがどれだけ子どもさんに関心を持っているかがわかることです。そして教科書一つ見ることで、親が

上手な叱り方

子どもに感心を持っていることを分からせることにもなるのです。「どうせ俺のことなんか親は考えてない」などという子どもの心理がどうにもならない親の歪みをつくってしまふことがあることを肝に命じましょう。

学校の良さを発信しよう

これまで延々と続けられてきた各地域の取り組みから育まれたその学校の良さを認識しましょう。それを誇りとしながら、更に伸ばして町の内外にアピールしましょう。

そんな中から、真の地域づくり、まちづくりが進み、それがまた学校教育だけでなく、社会づくり、人づくりにつながって、相乗的に発展していくのです。

町海外ホームステイ事業 中・高校生カリスペル研修レポート

まちの次代を担う子どもたちの視野を広げ、真の国際人を育てようと、町では本年度から海外ホームステイ事業を始めました。今年はこの研修に中学生二名と高校生三名が参加し、それぞれに有意義な研修が行われました。今月号から五回にわたり、それぞれに感じた体験レポートを掲載します。



福永君と甲斐君と一緒にホームステイ。ホームステイ先のモーガン君とも兄弟みだいにとても仲良し。

高森中学校三年
福永 光 三



八月八日、福岡空港から出発。関西空港を経由してシアトルに着いたのが同じ八日の午前九時五十分で、高森を出てから二十四時間以上経っていることに不思議な感じがしました。

それからアラスカ航空のスポーケン行きに乗り込み、スポーケンで乗り換えてカリスペルに到着したのは午後六時二十分という長旅で、着いてすぐカリスペル市のダグラス・ラッシー市長に会い歓迎を受け、建物の中を案内していただきました。

そこには警察署と消防署も一緒にあり、警察ではマシンガンを持たせてもらったり、手錠までかけさせてもらいましたが、マシンガンを持ったときは本物



光三君逮捕?!

なので緊張しました。

ほかにはフラッドヘッド大学や高校、リサイクルセンターなどを見学し、いよいよホームステイの方々に会うことができました。

ホストファミリーとの対面式では僕が会いたかったマー ト君（一昨年、福永君宅にホームステイ）に会うことができました。僕はすぐにマー

いのち

松江 ちづみ

おまえが この世に生を受けた時
うれしいとは思わなかった
お前の命が 私のからだにやどったのを知った時
何日も 何日も ひとり泣いた
それどころか おまえが この世の光をあびる前に
殺してしまおうとまでおもった
こんな母を許しておくれ

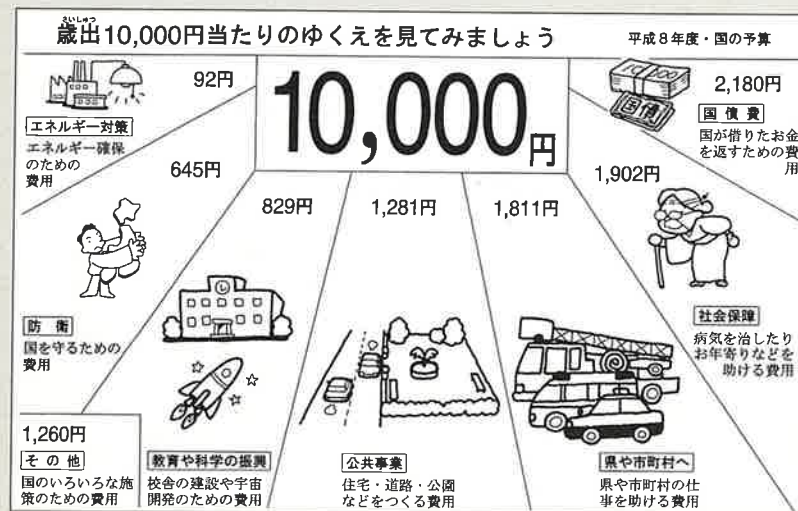
ひとは「おめでとう」と言うだろう
しかし わたしは お前を産むのを ためらった
わたしは 冷たい視線や 冷たい言葉の中で
冷たい矢を全身に受けて生きてきた
おまえも わたしと同じおまをやるだろう
できることなら おまえに代わって この母が
その重たい荷を せおってやりたい
おまえにむけられた 冷たい矢を
この身で 受けてやりたい

今 おまえは なにも知らず 乳をのむ
その命を その全身を わたしにゆだねて
わたしの腕の中で コクンコクンとのどをならす
わたしのぬくもりが おまえに伝わる
おまえが 大きくなった時
この母のおもいを 語る日がくるだろう

私たちは皆幸せに生きたいと願っています。この願いはすべての人に保障されなければなりません。この詩にあるように、おめでとうと祝うべきなにも子どもを産むのをためらわせるもの、それこそが差別そのもののなのです。すべての人が幸せを実感できるような世の中をめざして、私たち一人ひとりが身近なところから差別をなくす努力をしていきましょう。

高森町同和教育推進協議会

この社会あなたの税が生きている



11月10日～17日 税を知る週間



各地で様々な催しが展開

毎年開催されている「税を知る週間」。今年も習字や作文などの小中高生の税に関する作品展や税の無料相談、阿蘇法人会主催の落語家三遊亭楽太郎師匠講演会など、たくさんの催しが行われました。税は私たちが豊かで安定した生活ができるための大切な財源です。みんなで税についての理解を深めましょう。

税の広報

いよいよ年末 火災に注意！

いよいよというときの心がまえ 日頃から「もしも火災が、事故が、災害が起きたら…」と危機意識を持ち、できる限りの用心や対応をしておくことを危機管理といえます。



高森町 消防団

人を守り、まちを守る消防団活動 早朝の非常呼集訓練 連結放水訓練



高森地区の非常呼集訓練

5つの分団の心と力を合わせ、ホース37本と小型消防ポンプ6台、自動車ポンプ1台（約800m）を連結して送られてきた水が、勢い良く吹き出した。

十一月九日から十五日までの「秋の全国火災予防週間」の期間中、十一月十日の早朝六時、全町にサイレンが鳴り響きました。これは毎年行われている非常呼集訓練で、火災時期となる冬を前に消防団員はもちろん、住民の皆さんに防火、防災の意識を高めてもらうという行われたものです。

この日、野尻、草部、色見、高森の全地区でそれぞれにこの訓練が一堂に行われ、各地に鳴り響いた防災行政無線からのサイレンにより、各分団は速やかに所定の位置に集合。今年には特に消防車の放水ホースを連結して水を放水する「連結放水訓練」も阿蘇広域消防署南部分署の指導協力を得て実施しました。

高森地区では上在の第四分団が取水元となり、途中、第五、六、七分団の消防ポンプを経由して最後は高森町役場近く待機する機動分団のポンプ車につなぐと、五つの分団の意気を一にした勢いのある放水が行われました。

この連結放水は消防技術の中で特に難しい高度なもの。塚本消防団長は「各分団の連携と技術の高揚、伝令や無線による連絡体制を強化にしてこの技術を高めたい。住民の皆さんも日頃から火災や防災への意識を強く持つていただきたい」と話されていました。

消防なんでも南部分署

こんなとき どうする？ 知っておきたい 消防のコツ



電気器具から 火が出た！

阿蘇広域行政消防本部 南部分署 TEL.2-9034

電気器具から火が出たら

■プラグをコンセントから抜いて水や消火器で火を消す。
■コードが燃えたり、くずぶついている場合は、プラグをコンセントから抜くと感電する恐れがあるので、ブレーカーを切ってから消火する。

注意 点

▼水を使用する場合は感電する危険があるので、電気が流れていないことを確認してからおこなうこと。
▼電気コタツの場合、カバーやふとんをめくると、空気が入って火の勢いが大きくなる。その上から水をかけて消火すると、火がおさまったのを確認してからカバーをはずして完全に消火する。
▼電気火災に有効な消火器には青いラベルが貼られているので、必ずそれが貼られたものを使用する。
(粉末消火器、強化液消火器)

永年の地方自治への功労を讃える

秋の叙勲



これまでの御労苦に感謝し
今回の受章を心からお慶び申し上げます

前高森町長 瀬井浪夫氏

勲五等 双光旭日章を受章

（そうこうきよくじつしょう）

瀬井浪夫、前高森町長（七十七歳・尾下）が十一月三日、勲五等双光旭日章を受章されました。氏は昭和十五年の大分県経済部耕地課勤務をはじめとして、昭和二十四年に旧野尻村書記、昭和三十三年の高森町への編入合併以来、高森町事務吏員として町政に貢献。

今回、このような章をいただき恐縮いたしております。これもひとえに高森町の発展への町民の皆様お一人おひとりのご理解、ご協力の賜と存じ、身の引き締まる想いでございます。町政を退いて既に五年が経過致しました。在職中は皆様方の並々ならぬご協力とご高配を賜りましたことに對し、深く感謝申し上げる次第であります。

昭和十五年から平成三年ま

での五十有余年、行政に携わらせていただいたことは、私の生涯においてこの上もない喜びであります。この間、高度成長時代の到来と共に地方自治においても様々な変遷があり、その一つひとつが走馬燈の様に脳裏にのみがえってまいります。

町の発展は道路からと国道三二五号線バイパス整備をはじめとした道路行政。人づくりは教育からと児童福祉面での家庭教育の推進や町内全学校校舎、プールなどの整備。観光面では「滞在型観光の振興」と現休暇村南阿蘇の誘致。町の基幹産業である農林業については広域農道、林道の整備建設や農産物のブランド化促進や農業後継者の育成。高齢化への対応としての老人福祉をはじめとした町民福祉の向上など様々なものがありました。

これらの中で特に思い出深いものは、地域の皆様のご理解とご協力によって成しえた学校統合による高森東中学校の開校。観光と福祉面をはじめとした高森町振興に欠かせない第三セクター南阿蘇鉄道の設立。米の減反政策や予算

策定のための国、県への折衝。町観光の核としての高森温泉館構想など、どれをとっても町民の皆様の高森町を良くしようという高まりの現れによるご理解とご協力がなければ成しえなかったことであり、全職員一丸となって取り組むことができたことに對し、あらためまして厚く御礼申し上げます。

現在、今村町政のためまいな努力により、高森温泉館も実体を伴って高森観光の核として円滑に推移して他の観光施設との連携により年々大きく開花しており、また、農林業振興面においても施設面の整備だけでなく、意識の改革が進められ、産物のすべてが高森ブランドと誇れるものになつてきていることを大変喜ばしく思っております。

今後、高齢化社会と高度情報化時代の到来による社会変化は如何なる行政の変化を伴うものか予測がつかないところではあります。今村町政のもと、私たちは高森町に誇りを持ち、町が益々発展するよう一丸となつて、人づくりからの町づくりに、みんなの心と力を合わせてまいりましょう。

21世紀ヘスマッシュ！次世紀への足がかりをめざして

本町の国体テニス競技開催に向けて、町内にテニス競技を普及しようと10月20日テニス教室を開催しました。この日の参加者は約200人。中・高校生はもちろん、たくさんの一般参加もあり、県テニス協会副理事長の柿原憲二先生などから、講演と実技面で基礎からいねいに指導いただきました。一般参加者の皆さんの中には初心者もたくさん。「テニスは楽しい。ずっと続けたいですね。」との声が聞かれました。

秋晴れの 町テニス教室



来年度からも定期的に開催します。たくさんの参加をお待ちします。